

§協会の動き（平成27年1・2月分）

☆平成26年度経営者セミナーの開催

[企業対策委員会事業]

1月21日（水）ホテルブリランテ武蔵野（さいたま新都心）にて、平成26年度経営者セミナーを下記の内容で開催しました。

I 『電設企業における産業廃棄物の取扱について』

講師：埼玉県 環境部産業廃棄物指導課 監視・指導担当

主任 伊原 洋輔 氏

II 『防犯灯・道路灯のリース事業について』

講師：パナソニック(株)エコソリューションズ社 埼玉電材営業所

所長 古西 浩之 氏



☆平成27年賀詞交歓会の開催

[総務委員会事業]

1月21日(水)ホテルブリランテ武蔵野において平成27年賀詞交歓会を開催いたしました。当日は経営者セミナー後に開催され、多くの通常会員、賛助会員の方々にご参加いただき交流を深めました。



[島村会長の挨拶]



[和やかな会の様子]



[賛助会員の皆様]

☆ 県外研修 [沖縄県電気管工事業協会との意見交換]

[40周年記念事業]

2月6日(金)、40周年記念事業の一環で那覇市にある電管協会館で沖縄県電気管工事業協会との意見交換会を実施いたしました。当協会からは島村会長、古小高総務委員長、荒川事務局長を中心に21名が参加。沖縄県電気管工事業協会からは金城会長、吉濱副会長、中村副会長、島常務理事が出席され、お互いの協会運営の現況と課題・対応策などについて情報を交わしました。沖縄県協会の特徴や課題として「県の資格審査における主観点数において、社会貢献項目で協会加入1年あたり1点、上限35点まで加算(大半の協会員が上限の35点をもらっている)」「工事発注は基本的に地元とのJVが入札要件となっている」「労務単価、特に技術者の単価が著しく安く、首都圏の普通作業員より技術者の労務単価が低い」「地域経済が公共事業に依存している」「設備工事業者の多くが電気工事業者と管工事業の資格を持ち、両方の仕事を請け負っている」と説明。埼玉県からは県の特徴や課題、神奈川・千葉との三県連絡会議やプラント系メンテナンスにおけるJV発注などについて説明しました。

意見交換の後、島村会長は「とても有意義な意見交換会となった。主観点については是非持ち帰って検討したい。このほか参考にすべき点が多々あり、貴重な時間を割いてくださった金城会長を初めとする沖縄県協会の皆様に感謝する。東京に来られたおりには、是非一声かけていただきたい」と挨拶しました。

今回の意見交換会において、大変お世話になりました沖縄県電気管工事業協会の皆様に心より感謝申し上げます。



☆フォローアップ研修会を開催

[埼玉県建設業担い手育成事業]

2月18・19日、25・26日に吉見町とさいたま新都心の2ヶ所で、各2日間にわたりフォローアップ研修会を開催しました。延べ26人の会員企業の中堅技術(技能)者が参加し、離職率を減らすため、働きやすい職場環境づくりやモチベーション向上策などと安全及び電気管理技術について学びました。

第一部では、講師の國實誠氏がリーダーを育てるための目標の具体化、コミュニケーション、モチベーション、責任感などについて受講者参加型の研修を実施、第二部として電気管理技術講習では、講師の須加直昭氏により危険予知訓練や事故防止のための電気設備機器の基本構造などについて学びました。

講習後の受講生のアンケートでは「コミュニケーションの大切さがよくわかった、即実践したい。」という意見が多くありました。



〔講師の國實 誠氏〕



〔講師の須加直昭氏〕



〔川合企業対策委員長の挨拶〕



〔修了証書授与〕